



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



UNESCO  
Associated  
Schools

# CONNECT

ユネスコスクールニュースレター “生活の中のゴミを削減しよう！” 第15号 2021.02.15発行

## 国際コーディネーターより（要約）

ASPnet コミュニティの皆様  
ナショナルコーディネーターの皆様  
教員・児童および生徒・保護者の皆様

ASPnet コミュニティの2021年は、大成功に終わった1月29日の [Trash Hack](#) campaign（ゴミ削減キャンペーン）を立ち上げるための[ウェビナー](#)で幕を開けました。ウェビナーの様子は[英語](#)、[フランス語](#)、[スペイン語](#)で視聴することができ、生活の中のゴミを削減することに関心のある世界各国の生徒、教師、若者のリーダーたちをつなぎ、すでに4,000回以上再生されています。特に、インドネシアのユネスコスクールの生徒たちが作詞作曲した歌「[Let's Change for the World](#)」には大変感動しました。

そのため本号では Trash Hack キャンペーンを掘り下げ、教室や家庭で世界のゴミを削減することに役立つ、ユネスコ作成の「[Trash Hack: Action learning for sustainable development](#)（ゴミ削減：持続可能な開発のための行動学習）」ガイドを取り上げます。ゴミ削減の素晴らしいところは、毎日、誰でもどこでも自分の思うようにできるということです。

皆様はどのようにゴミの削減を実行していますか？ 一日の中でほんの少し何かを変えることで、地球の年間のゴミの山は削減され、持続可能な開発目標の達成に一歩近づくことができます。ユネスコは、皆様のアイデアを5月に開催される[持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議](#)で共有します。このことについて、持続可能な開発のための教育セクションチーフ（Chief of the Education for Sustainable Development Section）である Alexander Leicht よりメッセージをいただきましたことを嬉しく思います。

また、ASPnet が初めて関わった2つのコンテストについて素晴らしい報告がございます。2021年1月25日に[教育の国際デーを記念したイベント](#)にて表彰された「星の王子さまとの会話 “Conversation with the Petit Prince”」コンテストの最終候補者60名の中に、18名のユネスコスクールの生徒が選ばれました。さらに、[Week of Sound コンテスト](#)においては、ポルトガルの特別支援学校の児童が特別賞を受賞しました。

ご注意：OTA は現在メンテナンスと品質向上のため、オフラインとなっており、ご利用できません。ご不便をお掛けし申し訳ございませんが、出来る限り早急に復旧できるよう、取り組んでおります。状況につきましては随時ご報告いたします。

## 主なコンテンツ

- ◆ 持続可能な開発のための教育セクションチーフ（Chief of the Education for Sustainable Development Section）Alexander Leicht からの特別メッセージ

[ビデオメッセージを見る](#)

- ◆ ASPnet、4,000 人のビューアーたちと Trash Hack Campaign（ゴミ削減キャンペーン）を立ち上げる 2021 年 1 月 29 日、世界各国から 4,000 人以上の教員、学校指導者、ユーストレーナーたちがユネスコの Trash Hack 立ち上げウェビナーを視聴しました。キャンペーンの要となるのは教員向けガイド「[Trash Hack: Action learning for sustainable development](#)（ゴミ削減：持続可能な開発のための行動学習）」であり、教室内におけるゴミ削減のための行動や、その成功例を共有する方法を紹介しています。

参加者の Trash Hack 活動例：

- 北アイルランド、リスバーンの Wallace High School に通う Josh と Max Kamalarajah 兄弟は、ニュース速報の形で世界のゴミ「犯罪」について[ビデオ](#)を制作。
- インドネシアのジャカルタにある SMP Labschool の英語教師である Lilis Musyarropah は、学校の緑化に向けて生徒たちとゴミ問題とリサイクルに関する[歌](#)を作曲。
- ケニアの Nairobi International School の教師 Philip Odeka は [Litterless Campaign](#)（ゴミなしキャンペーン）を通し、学校近くに捨てられるゴミをリサイクルする取組みを先導。

ウェビナーは ASPnet と [国際環境教育基金](#) が企画・運営し、Trash Hack の概念と使いやすいガイドについての説明後、すでに独創的で効果的な方法でゴミ削減に取り組んでいる若者たちの話を聞く場となりました。

- ◆ 最近と今後のユネスコの活動

- 1 月 14 日 - ユネスコ、気候変動教育でフランスと手を組む  
2018 年、ユネスコは世界各国における気候変動教育を強化するため、フランスの教育省とともに、Office for Climate Education (OCE) を [ユネスコカテゴリー2 センター](#) として設立することに合意しました。OCE は学術団体、NGO、教育機関の国際協力を促進し、気候変動について現在と未来の世代を教育することを目的としています。また、[持続可能な開発のための教育](#) に即し、若い世代に理解を深めるためのツールを身につけてもらうことを目指しています。>>[もっと詳しく読む](#)
- 1 月 24 日 - ユネスコ、2021 年教育の国際デーの 3 周年を記念し、バーチャルイベントを開催  
テーマは「Recover and Revitalize Education for the COVID-19 Generation（新型コロナウイルス世代の教育を回復し、復興させよう）」。詳細は [こちら](#)  
事務局長のメッセージ：

[英語](#) [フランス語](#) [スペイン語](#) [ロシア語](#) [アラビア語](#) [中国語](#)

イベントを視聴する：

英語：<https://youtu.be/alcanJWTvac>

フランス語：<https://youtu.be/osc35wKP-V>

- 2月10日 - 持続可能な開発のための教育と気候非常事態：Bending the curve for climate change（気候変動の排出曲線を下方に修正する）

現在の気候非常事態において、持続可能な開発のための教育は、グリーンで持続可能な社会を構築するための緊急対策にどのように貢献することができるでしょうか？ 本ワークショップでは、[持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議](#)に向け、最新のデータを活用した若者の活動やフォーマル教育の例を取り上げつつこの課題について探ります。詳細は[こちら](#)

- 2月12日 - Challenge4ClimateAction 会議 Challenge and Datathon（挑戦とデータソン）  
Challenge4ClimateAction は生徒、教育者、環境活動家向けに、気候問題や環境への影響を減らすための行動についての無料のバーチャル会議を開催しました。詳細は[ウェブサイト](#)をご覧ください。また、3月5日から14日まで、Challenge and Datathon（挑戦とデータソン）が開催され、勝者には賞金を贈呈します。詳細と登録方法については[ウェブサイト](#)を、最新情報は [Twitter](#)、[LinkedIn](#)、[Facebook](#) または [Instagram](#) と #Challenge4ClimateAction をご参照ください。
- 2月21日 - ユネスコ、国際母語デーを記念して多言語使用を促進する  
今年の国際母語デーのテーマは「Fostering multilingualism for inclusion in education and society（教育と社会におけるインクルージョンのための多言語使用の促進）」です。多言語使用は包摂を促進し、持続可能な開発目標も誰も取り残さないことに焦点を当てています。[もっと読む](#)

#### ◆ ASPnet からのお知らせ

- 星の王子さまがロックダウン中の世界に戻ってきたとしたらなんと言うでしょう？  
2021年1月25日に教育の国際デーを記念したイベントにて表彰された「星の王子さまとの会話 “Conversation with the Petit Prince”」コンテストの最終候補者60名の中に、18名のユネスコスクールの生徒が選ばれました。  
[イベントのビデオを見る](#)  
フランス、ナンシーのユネスコスクール Vincent Van Gogh college のウェブラジオ（Eco Radio）放送を担当する生徒たちによる[ジャンニーニ・ユネスコ教育担当事務局長補のインタビューを聴く](#)
- Week of Sound コンテストにてユネスコスクールが評価される  
本コンテストでは70の参加者のうち、ユネスコスクールからは4校（ポルトガルとアルゼンチンから各2校）が参加し、ポルトガルのポルトにある Alexandre Herculano Associated Secondary School が Week of Sound の会長を務める Christian Hugonnet に表彰されました。同校は耳の不自由な生徒にバイリンガル教育を提供し、自閉症障がいの子供のための体系的な教育に取り組んでいます。  
本年3月または4月にもコンテストが開催されますので是非ご参加ください。  
受賞作品は[こちら](#)、全応募作品は[こちら](#)をご覧ください。
- グローバルな学習コミュニティ構築のために18の教師教育および研修機関が結集  
2021年2月3日、海南省人民政府の協力を得て、Teacher Education & Training Institutions (TEIs) for Global Citizenship Education for Sustainable Development（変革のための取り組み

ー持続可能な開発のための地球市民教育に向けた教師教育および研修機関)の第3回ウェビナーが開催されました。本ウェビナーは、2021年のロードマップを策定し、変革の機会について検討することを目的としました。次回は4月に5日間のオンラインミーティングが企画され、優れた実践を共有し、公正、平和で持続可能な社会について再考するための教師教育と研修について話し合います。

- 2021年3月14日 国際数学デーを記念して

国際数学デー (International Day of Mathematics (IDM)) は、若者に数学を好きになってもらい、数学がどこにでも存在し、役に立ち、美しいものであることを伝えることを目的としています。このコロナ禍において、2021年の国際数学デーのテーマは**より良い世界のための数学**に決定しました。[国際数学デー](#)について学び、数ヶ国語でご用意しているエンリッチメント活動を実践して、写真やビデオを[ウェブサイト](#)で共有してください。ポスターコンテストへのご応募は[こちら](#)へ。

私たちのネットワークを構築・強化し、互いを励まし思いやる、皆様からの連帯のメッセージなどを、文章、絵、ビデオ、その他のアート作品にしてお送りください。

また、皆様の学校内外、家族内での体験や革新的な学習方法を [aspnetinaction@unesco.or](mailto:aspnetinaction@unesco.or) まで、[consent form](#) (同意書) を添付してお寄せください。

ASPnet チーム :

Julie Saito, Melanie Seto, Fouzia Belhami, Katja Anger, Simon Wanda, Erik Eschweiler, Helene Darne, Kangni Chen, Apolonia Torres, Mary de Sousa

Get connected: <https://aspnet.unesco.org>

Contact us: [aspnetinaction@unesco.org](mailto:aspnetinaction@unesco.org)